

佐久市臼田文化センター運営委員会次第

日 時 令和3年6月4日（金）
午前10時～
場 所 臼田文化センター 会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 会議事項

(1) 令和2年度事業報告について

(2) 令和3年度事業計画（案）について

(3) その他

4 閉 会

令和2年度 佐久市臼田文化センター事業報告

1 管理運営

- (1) 開館時間 午前9時～午後5時
- (2) 開館日数 216日
- (3) 休館日 毎週月・火曜日（国民の休日に当たる場合は除く）
年末年始：12月29日～1月3日
臨時休館：4月8日～5月31日
（新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館）
- (4) 入館の状況（令和3年3月末現在）
入館者数 476名（前年同期 689名 30.9%減）

2 収蔵資料の展示

○1階ロビー

- ①市指定文化財等の写真と概要説明
- ②遺跡出土品（縄文時代の資料を中心に展示）

○2階展示室

- ①龍岡城五稜郭関係資料（写真、龍岡城構造図等の展示）
- ②大奈良遺跡、反田遺跡（いずれも臼田）から出土の縄文時代中期の土器を展示
- ③寄山遺跡群（現佐久リサーチパーク）から出土した土偶の展示
- ④近津土地区画整理事業（長土呂）に伴う発掘調査により確認された土器、和同開珎、奈良三彩（陶器）などの展示
- ⑤その他遺跡出土品
唐松B遺跡（平林）、月夜平遺跡（入澤）、北西の久保遺跡、円正坊遺跡Ⅷ（ともに岩村田）、権現山窯跡（八幡）、北畑Ⅲ遺跡、宮浦遺跡、平馬塚遺跡Ⅱ（いずれも桜井）、八風山遺跡群（香坂）など

3 収蔵資料

- ①川村清人氏寄贈美術工芸品
- ②龍岡城五稜郭資料陣屋日記、藩校教科書、展示してある遺跡出土品等
- ③一般書、市町村史等、郷土図書、書類・写真等

4 誘客対策

- ①佐久市ホームページ、広報サクライフでの周知
- ②文化財事務所と連携して情報提供
- ③市内の関係施設への案内チラシの設置
- ④「五稜郭であいの館」に、臼田文化センターの五稜郭の資料に係る案内チラシを設置

5 企画展等

郷土史講座の開催

開催日：令和2年10月12日（月）午後1時30分～

会場：佐久市臼田文化センター

参加者：25人

【講座内容】

① 「太田部の西を流れる江戸時代の千曲川～大井家古絵図から～」

発表者：臼田古文書を読む会 大井 昌実氏

② 「郷土の古文書に見る水害の記録」

発表者：佐久市文化財保護委員会 鷺見 和人氏

③ 「洪水で消えた深堀村」

発表者：佐久市臼田文化センター 上原 美次氏

《参考》 H30年度～R2年度の利用状況

H30～R2年

臼田文化センター利用状況

(単位：人、円、%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
入館者数	30年度	55	82	82	80	89	97	485	61	48	32	64	71	58	334	819
	R1年度	66	105	55	64	135	53	478	60	54	26	31	38	2	211	689
	比較R1-H30	11	23	△ 27	△ 16	46	△ 44	△ 7	△ 1	6	△ 6	△ 33	△ 33	△ 56	△ 123	△ 130
	伸率	20.0	28.0	△ 32.9	△ 20.0	51.7	△ 45.4	△ 1.4	△ 1.6	12.5	△ 18.8	△ 51.6	△ 46.5	△ 96.6	△ 36.8	△ 15.9
	R2年度	15	0	35	38	68	74	230	93	26	33	37	18	39	246	476
	比較R2-R1	△ 51	△ 105	△ 20	△ 26	△ 67	21	△ 248	33	△ 28	7	6	△ 20	37	35	△ 213
	伸率	△ 77.3	△ 100.0	△ 36.4	△ 40.6	△ 49.6	39.6	△ 51.9	55.0	△ 51.9	26.9	19.4	△ 52.6	1,850.0	16.6	△ 30.9

令和3年度 佐久市臼田文化センター事業計画（案）

1 収蔵資料の展示

入館者の新規開拓に向けては、PR方法だけでなく、展示内容の変更や工夫が欠かせないことから、文化財事務所と調整し、充実を図る。

(1) 1階ロビー

文化財等の資料や出土品の展示

(2) 2階展示室

毎年、文化財事務所職員により市内遺跡出土品等の展示替えが行われており、時期をあわせて周知を行う。

2 収蔵資料の整理・活用

文化財事務所と協議し、活用方法を検討する。

(1) 川村清人氏寄贈美術工芸品

(2) 龍岡城五稜郭資料陣屋日記、藩校教科書、展示してある遺跡出土品等

(3) 郷土図書、一般書、市町村史等

3 誘客対策

(1) 佐久市ホームページ、市広報「サクラライフ」による周知 展示替えに合わせた、特徴的な展示品等のPR。

(2) 市内施設見学のコースへの組み入れ 市内施設見学（10月下旬）の実施予定。 新型コロナウイルスの状況により中止となる可能性あり。

(3) 八十二文化財団提携施設として、周知への活用 提携施設となったことに伴い、友の会会員向けに当センターの情報も提供されることから、周知等への活用を図る。

(4) 特別展示の計画について ①丸岡秀子（自筆原稿「ひとすじの道」・写真など） ②龍岡城五稜郭資料陣屋日記の公開 ③渋沢栄一（藍玉通い帳など）